

2021年11月8日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長グループ CEO
 里 見 治 紀
 (コード番号 6460 東証第一部)
 問 合 せ 先 上席執行役員経営企画本部長
 高 橋 真
 (電話番号 03-6864-2400)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月13日に公表した通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 312,000	百万円 20,000	百万円 20,000	百万円 14,000	円銭 59.55
今回発表予想 (B)	305,000	23,000	21,500	15,000	63.78
増減額 (B-A)	△7,000	3,000	1,500	1,000	—
増減率 (%)	△2.2	15.0	7.5	7.1	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	277,748	6,553	1,715	1,274	5.42

(参考情報：2022年3月期通期業績予想セグメント別内訳)

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	
売上高	内訳	合計	312,000	305,000	△7,000
		エンタテインメント コンテンツ事業	213,000	230,000	17,000
		遊技機事業	89,000	65,000	△24,000
		リゾート事業	9,500	9,500	—
		その他/消去等	500	500	—
経常利益	内訳	合計	20,000	21,500	1,500
		エンタテインメント コンテンツ事業	25,000	32,500	7,500
		遊技機事業	9,000	2,500	△6,500
		リゾート事業	△5,000	△6,500	△1,500
		その他/消去等	△9,000	△7,000	2,000

■ 通期連結業績予想修正の理由

連結業績予想については、前回発表予想に対する差異は軽微ではあるものの、セグメント別の見通しに大きな変更が生じたため、通期連結業績予想を修正いたします。

遊技機事業において、半導体をはじめとした世界的な部材調達リスクの顕在化に伴い販売台数計画を見直した一方、エンタテインメントコンテンツ事業が好調に推移していることにより、各段階利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

事業別の状況については下記のとおりです。

(エンタテインメントコンテンツ事業)

コンシューマ分野において、引き続きフルゲームにおける新作、リポートタイトルともに好調に推移していることに加え、一部タイトルのロイヤリティ収入等の計上も予定していることから、前回予想を上回る見込みとなりました。また、コンシューマ分野以外の各分野についても好調に推移していることから、売上高・経常利益ともに前回予想を上回る見込みです。

(遊技機事業)

世界的な半導体不足をはじめとした部材調達リスクの影響を受け、通期の販売台数計画をパチスロ遊技機 67,000 台 (前回予想 101,000 台)、パチンコ遊技機 77,000 台 (前回予想 103,000 台) へと修正いたしました。前期実施の構造改革効果による固定費削減効果は、前回予想を上回る水準で推移しているものの、販売台数の減少の影響を補いきれないことから、売上高・経常利益ともに前回予想を下回る見込みです。

(リゾート事業)

海外において渡航制限が継続していることから『パラダイスシティ』における収益回復時期が当初想定より遅れていることに伴い、持分法による投資損失が増加する見込みとなりました。これにより、経常損失は前回予想から増加する見込みです。

※本資料内に記載した業績予想等につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上